

くりつがつこうでせいはいちだいにじじっしけいかく　そあん　よ　いけん
区立学校適正配置第二次実施計画（素案）に寄せられた意見と

く　かんが　かた
区の考え方について

1　く　みん　いけん　はんえい　せいど　いけん　うけつけじょうきょう
区民意見反映制度による意見の受付状況

(1)　いけん　ぼしゅうき　かん
意見募集期間

れいわ　ねん　がつ　にち　すい　れいわ　ねん　がつ　にち　か
令和6年12月11日（水）から令和7年1月21日（火）まで

(2)　いけん　けんすう　く　みん　いけん　はんえい　せいど　かいめ　せつめいかい
意見件数（区民意見反映制度、1回目の説明会）

けん　めい
21件（16名）

2　く　みん　いけん　はんえい　せいど　いけん　ぼしゅうご　よ　いけん
区民意見反映制度による意見募集後に寄せられた意見

いけん　けんすう　ほうけいちゅうがつこう　さいど　せつめいかい　ほごしゃ　たい　こべつめんだん
意見件数（豊溪中学校での再度の説明会、保護者に対する個別面談、
オープンハウス）

けん　めい
3件（1名）

3　こ　ども　から　よ　せられた　いけん　ようし　く　かんが
子どもから寄せられた意見（要旨）と区の考え

たいおうくぶん　しゅるい
対応区分の種類

◎　いけん　しゅし　ふ　けいかく　はんえい
意見の趣旨を踏まえ計画に反映するもの

○　そあん　しゅし　けいさい
素案に趣旨を掲載しているもの

□　そあん　きさい　ほか　しさく　じぎょうとう　すで　じっし
素案に記載はないが他の施策・事業等で既に実施しているもの

△　じぎょうじっしとう　さい　けんとう
事業実施等の際に検討するもの

※　しゅし　はんえい
趣旨を反映できないもの

ー　た　じょうきいがい
その他、上記以外のもの

NO.	意見の概要 いけん がいよう	区の考え方 く かんが かた	対応 たいおう 区分 くぶん
第1章 適正配置の基本的な考え方 だい しょう てきせいはいち きほんてき かんが かた			
1	生徒数減少のデメリットはあるが、一人ひとりに詳しく教えることができる。	学校にいる児童・生徒の人数が少ない「小規模校」には、「一人ひとりの学習の状況や内容について、先生が把握しやすい」「違った学年同士の活動がしやすい」「学校のいろいろな活動で、一人ひとりがリーダーを務める場合が多くなる」といった良い点があると考えています。	○
2	自分の意見が言いやすいなど少人数の良さがあり、少人数の学校を希望する子もいる。	しかし、学校の人数が少なくなり過ぎると、同じ人としかお友達になれなくなってしまうことが心配されます。その場合、たくさんの人たちが持っているいろいろな考え方を聞いたり知ったりすることが少なくなってしまうなどの良くない点が出てきてしまい、学校の先生たちが頑張ったとしても、補うことが難しくなりがちになってしまいます。	○
3	少人数学級の何がだめなのか。少人数の方が落ち着いて勉強しやすい人もいます。	全ての区立学校では、児童・生徒一人ひとりに合わせた丁寧な指導を行っていますので、分からないことがあれば、遠慮なく先生に聞いてほしいです。 区立学校では、国の方針に合わせて、1クラスの人数を35人までとすることを進めていきます。また、どの学校でも、児童・生徒一人ひとりがどのくらい授業を理解しているかによって、クラスを超えた細やかな指導を行っています。	□

NO.	いけん がいよう 意見の概要	く かんが かた 区の考え方	たいおう 対応 くぶん 区分
だい しょう だいに じできせいはいち きほんほうしん もと できせいはいちけんとうこうほこう ちゅうしゅつ 第2章 第二次適正配置基本方針に基づく適正配置検討候補校の抽出			
4	くりつがっこうできせいはいちだいにしじつしげいかく 区立学校適正配置第二次実施計画は いいと思う。社会科見学や移動教室に ちゃんと行けるようになるし、体育館 や教室など 快く過ごせるようになる など、色々なメリットがある。	みな がっこうで せいかつ よ 皆さんの学校での生活が、より良 いものとなるよう、これからも努力 していきます。	○
5	がっこう た ぼしよ かんが にんずう おな 学校を建てる場所を考え、人数を同 じようにしようとしていることは知ら なかった。		○
6	かんが さんせい この考えに賛成。		○
7	できせいはいち おこな 適正配置を行っているのは、とても 良いことだと思った。		○
8	ほうけいちゅうがっこう ひかり おかだいいちゅうがっこう 豊溪中学校と光が丘第一中学校が 一緒になるのは賛成。豊溪中学校の学 区域だが、光が丘第一中学校に行き たい。説明会の動画を見たら、豊溪 中学校が怖いと思った。		○
9	がっこう か 学校をもっと増やしてほしい。	しょうらい にほん こ にんずう 将来の日本では、子どもの人数 が、今よりももっと減っていくこと が予測されています。そのため、 学校を新しく作ることは難しい と考えています。	※
10	がくねん がっきゅう がっきゅう 1つの学年が3学級から4学級に なってしまって、教室が減ってしまった ので何とかしてほしい。	がっこう た か ひつよう 学校を建て替えるときに、必要な 教室の数を用意していきます。	△

NO.	いけん がいよう 意見の概要	く かんが かた 区の考え方	たいおう 対応 くぶん 区分
だい しょう だいに じじっしけいかく てきせいはい ちたいしょうこう せんてい 第3章 第二次実施計画における適正配置対象校の選定			
11	ほうけいちゅうがっこう ひかり おかだいいちちゅうがっこう 豊溪中学校と光が丘第一中学校を とうごう 統合しないでほしい。	がっこう にんずう すく 学校の人数が少なくなり過ぎる と、同じ人としかお友達になれなく なってしまうことが心配されます。 その場合、たくさんの人たちが持つ ていろいろな考え方を聞いた り知ったりすることが少なくなっ てしまうなどの良くない点が出て きてしまい、学校の先生たちが頑張 ったとしても、補うことが難しく なりがちになってしまいます。	※
12	ほうけいちゅうがっこう 豊溪中学校をなくさないでほしい。	ほうけいちゅうがっこう ひかり おかだいいち 豊溪中学校 や 光が丘第一 ちゅうがっこう げんざい 中学校については、現在だけでな く、20年後の将来も、学校にいる せいと にんずう すく 生徒の人数がとても少ないことが よそく 予測されています。 また、ほうけいちゅうがっこう こうしや ふる 豊溪中学校の校舎は古い ため、近いうちにこのまま使うこと ができなくなってしまいます。 そのため、こんかい けいかく そあん 今回の計画（素案）を つく 作りました。	※
13	ほうけいちゅうがっこう ひと つうがく ふんいじょう 豊溪中学校の人で、通学に40分以上 じかん ひと こうつうひ こうひ 時間がかかる人には、交通費を公費で しきゅう と く 支給する取り組みや、ヘルメットの ちやくよう がっこう とくべつ しどう う え 着用・学校での特別な指導を受けた上 でじてんしゃつうがく きよか と で自転車通学を許可するなどの取り組 みをしてよいとおもう。	ほうけいちゅうがっこう ひかり おかだいいち 豊溪中学校 と 光が丘第一 ちゅうがっこう ひかり おかだいいちちゅうがっこう 中学校 が 光が丘第一中学校の ばしょ いっしょ いま 場所で一緒になることで、今よりも がっこう つうがく じかん なが 学校へ通学する時間が長くなって しまう生徒には、じてんしゃ つうがく 自転車通学で通学でき るようにします。また、バス代を区 で用意することはできませんが、 むずか てつづ おこな 難しい手続きを行わなくてもバス でつうがく 通学ができるようになります。 ご意見をいただいたので、このこ とについて、けいかく か 計画に書きます。	◎

NO.	意見の概要	区の考え方	対応 区分
14	豊溪中学校の人が通学に時間がかかってかわいそうなので、統合しないでほしい。	豊溪中学校と光が丘第一中学校が光が丘第一中学校の場所で一緒になることで、今よりも学校へ通学する時間が長くなってしまいう生徒には、自転車通学できるようにします。また、バス代を区で用意することはできませんが、難しい手続きを行わなくてもバスで通学ができるようにします。	◎
15	豊溪中学校の人が通学に時間がかかってかわいそうなので、統合しないでほしい。		◎
16	豊溪中学校の人が通学に時間がかかるので、クラス替えはしなくてもいい。		※
17	学校が遠いと体調不良や、学校に行くのが嫌になる子が増えると思う。		◎
18	光が丘第一中学校は忘れ物や部活動での再登校が未だに多少はあるため、自宅が遠い人たちには配慮が必要だと思う。	光が丘第一中学校では、通学に時間がかかる生徒については今も、先生が学校にいる場合には、部活動で再登校しなくても済むように、学校で待っていただいています。これからできるだけ、忘れ物や部活動のために、一度帰宅しなくても済むようにします。	△
第4章 「旭丘小学校・小竹小学校・旭丘中学校の今後の対応方針」に基づく進捗状況			
19	通学している小竹小学校がなくなるのは嫌だ。吹奏楽部を通して音楽が好きになれた。	小竹小学校については、旭丘小学校と旭丘中学校と「小中一貫教育校」という一つの学校にする方針を、令和元年に出しています。	△
20	小竹小学校は吹奏楽部や広い校庭など良いところがある。なくなると思うと悲しい。	好きな学校がなくなってしまう気持ちは、区としても十分に理解したいと思っています。 これまでの小竹小学校や旭丘小学校の良い部分を生かして、新しい学校がさらに楽しくなるように努力していきます。	△

NO.	意見の概要 い け ん が い よ う	区 の 考 え 方 く か ん が か た	対 応 く ぶ ん 区 分 たい お う
21	小竹小学校に関する内容が計画ではあっさりしている。子ども向け資料には書かれていない。 こ た け し ょ う が っ こ う か ん な い よ う け い か く あ っ さ り し て い る 。 こ ど も 向 け 資 料 に こ む し り ょ う は 書 か れ て い な い 。	小竹小学校については、旭丘小学校と旭丘中学校と「小中一貫教育校」という一つの学校にする方針を、令和元年に出しているため、今回の計画での検討には入っていません。 こ た け し ょ う が っ こ う あ さ ひ が お か し ょ う が っ こ う あ さ ひ が お か ち ゅ う が っ こ う 小 学 校 と 旭 丘 中 学 校 と 「 小 中 い っ か ん き ょ う い く こ う ひ と が っ こ う 一 貫 教 育 校 」 と い う 一 つ の 学 校 に ほ う し ん れ い わ が ん ね ん だ す る 方 針 を 、 令 和 元 年 に 出 し て い る こ ん かい け い か く け ん と う は い た め 、 今 回 の 計 画 で の 検 討 に は 入 て い ま せ ん 。 し か し 、 現 在 の 状 況 に つ い て し ほ う よ か ん が は 、 お 知 ら せ し た 方 が 良 い と 考 え て 、 第 4 章 に 書 き ま し た 。	□
22	小竹小学校に通う子が旭丘小学校まで通うのは遠い。 こ た け し ょ う が っ こ う か よ こ あ さ ひ が お か し ょ う が っ こ う か よ と お ま で 通 う の は 遠 い 。	小竹小学校の通学区域から旭丘小学校まで、今よりも近くなる子どもたち、遠くなる子どもたちがいると考えています。 こ た け し ょ う が っ こ う つ う が く く い き あ さ ひ が お か し ょ う が っ こ う い ま ち か 旭 丘 小 学 校 ま で 、 今 よ り も 近 く な る こ ど も た ち 、 遠 く な る こ ど も た ち が い る と 考 え て い ま す 。 あ ん ぜん か よ つ う が く ろ え ら 安 全 に 通 え る 通 学 路 を 選 ん だ り 、 つ う が く ろ し ゅ う ど う ひ と は い ち 通 学 路 に 誘 導 す る 人 を 配 置 し た り 、 つ う が く と き に も つ か る 通 学 す る 時 の 荷 物 を も っ と 軽 く す る 方 法 な ど 、 い ろ り ろ な 方 法 を 考 え て い き ま す 。	△
第 5 章 第二次実施計画を進めるにあたっての具体的な取り組み だ い し ょ う だ い に じ じ し け い か く す す ぐ たい て き と く			
23	避難場所が少なくなり、災害時に避難できない人が出てこないか。 ひ な ん ば し ょ す く さ い が い し ひ な ん ひ と で 避 難 場 所 が 少 な く な り 、 災 害 時 に 避 難 で き な い 人 が 出 て こ な い か 。	災害が起きた時、区立の学校は、地域にお住まいの皆さんなどが避難する場所になります。2つの学校が1つになったとしても、避難できない人が出ないようにしていきます。 さい が い お と き く り つ が っ こ う 災 害 が 起 き た 時 、 区 立 の 学 校 は 、 ち い き す ひ な ん 地 域 に お 住 ま い の 皆 さ ん な ど が ひ な ん ば し ょ 避 難 す る 場 所 に な り ま す 。 2 つ の が っ こ う ひ な ん 学 校 が 1 つ に な っ た と し て も 、 避 難 で き な い 人 が 出 な い よ う に し て い き ま す 。	○
その他 そ の た			
24	子どもの意見を十分に聞かずに決めるなんておかしい。 こ ど も の い け ん し ゅ う ぶ ん き こ じ こ ど も の 意 見 を 十 分 に 聞 か ず に 決 め る な ん て お か し い 。	パブリックコメントをするときに、各学校から児童・生徒の皆さんにお知らせをして、タブレット端末などから子どもの意見を募集しました。これからも皆さんの意見をお聞きするために、ご協力をお願いしていきます。 か く が っ こ う じ ど う せ い と み な に 、 各 学 校 か ら 児 童 ・ 生 徒 の 皆 さ ん し に お 知 ら せ を し て 、 タ ブ レ ッ ト 端 末 こ い け ん ぼ し ゅ う な ど か ら こ ど も の 意 見 を 募 集 し ま し た 。 こ れ か ら も 皆 さ ん の 意 見 を お き 聞 き す る た め に 、 ご 協 力 を お 願 い し て い き ま す 。	○